

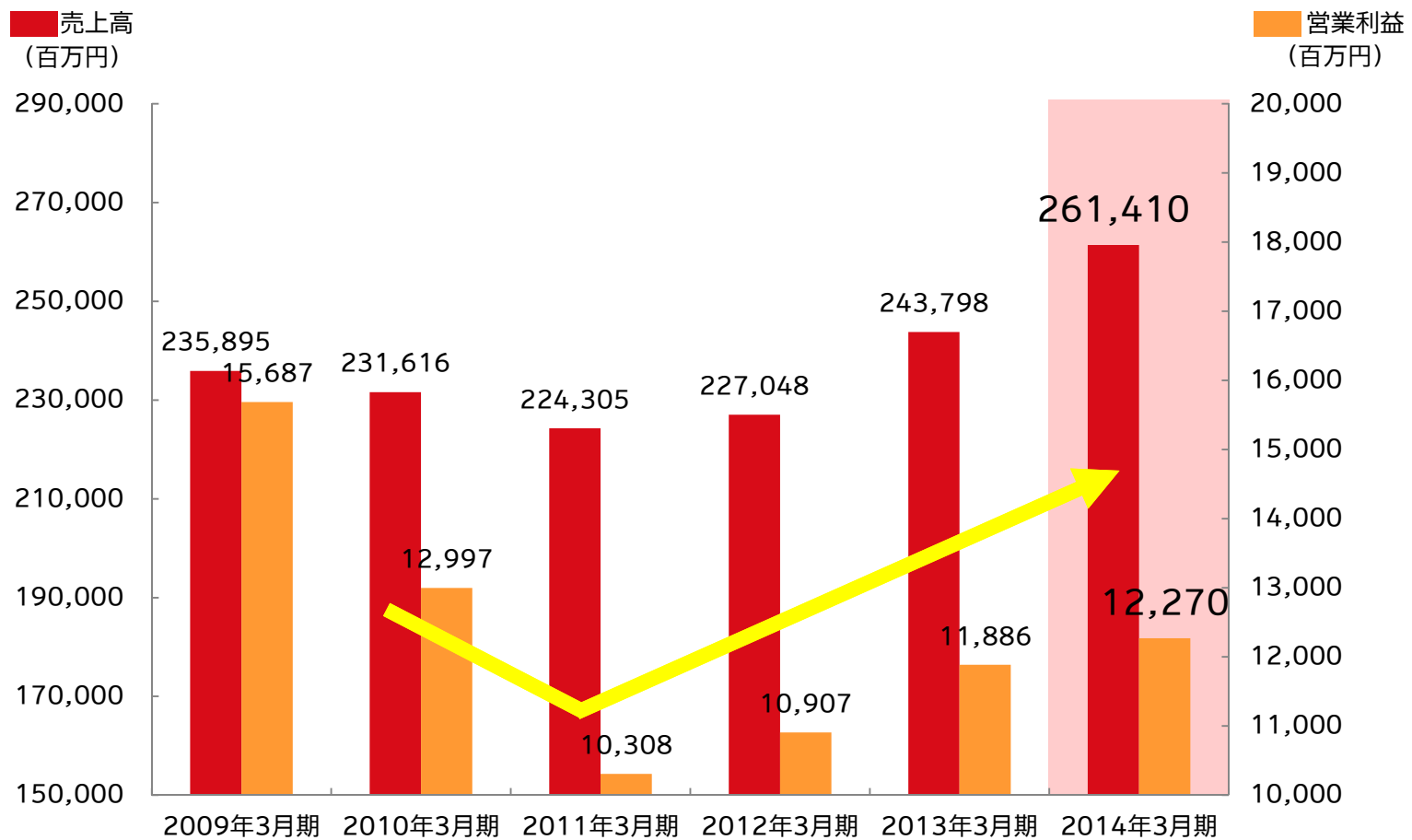
2014年3月期 決算説明会

2014年5月15日

トッパン・フォームズ株式会社

業績の推移

減収減益の流れを脱却し、3期連続の増収増益を達成



トッパンフォームズの強み

- ◆ 個人情報取り扱いに関する圧倒的な技術・実績・体制
 - 四半世紀以上にわたるDPSで確立した個人情報の管理運用技術と実績
 - 安全・安心を実現する最高水準のセキュリティー体制
 - 培ってきた技術・ノウハウの海外グループ企業への水平展開を推進
 - ◆ 国内外の優良企業との「信頼」を基盤とした良好な関係
 - 顧客の情報システム部門、事務企画部門との太いパイプ
 - 枝葉部分の“モノ売り”ではなく顧客のワークフローの幹となる「情報の流れ」を抑え、それを改善していく提案活動
 - 香港、シンガポール、タイなどのマーケットにおける確固たるシェア
- ➡ 日本のビジネスフォームメーカー、印刷会社の枠を超え顧客の持つ情報やデータベース価値の最大化を実現するグローバル企業への変革が着実に進んでいる

基本方針

存在感ある強い企業体質 品格ある組織風土をもとに 価値創造型企業への変革

— 重点経営目標 —

- ◆ 強い現場力
- ◆ 圧倒的な差別化
- ◆ 強固な財務基盤
- ◆ 社会に評価される企業

社会に評価される企業

◆ ダイバーシティ推進による企業価値向上

- 経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」、経済産業省・東京証券取引所「なでしこ銘柄」にダブル選定



- 日本経済新聞「人を活かす会社」7位

➡ まだまだ道半ば
より働きがいのある「良い会社」へ

強い現場力（1）

◆ 目標達成能力の高い営業組織

- 個人情報取り扱いの技術・ノウハウや培ってきた確かな実績、顧客からの信頼を活かした営業活動を強化

◆ コスト改革に挑戦する製造体制

- 最大40強あった工場を約半分の20強に集約
- 構造改革的なコスト削減を進め、利益を最大化
- 有事に備えたBCP（事業継続計画）の強化



滝山工場



大阪桜井工場

◆ セキュリティー体制のさらなる強化

- 凸版印刷と共同でグループ・データセンターを立ち上げるなど、当社の強みの源泉の一つであるセキュリティー体制のさらなる強化を推進

強い現場力 (2)

◆ BPO体制のフルラインアップ化

- 買収したジェイエスキューブとの連携により国内最大級のデータ入出力体制を実現
- 新拠点（日野センター）の立ち上げによる受託能力のさらなる強化

J-SCube



◆ 課題解決力と実行力を備えた人材育成

- ユニバーサルデザイン認証資格取得による提案力強化
- グローバル人材育成プログラムの推進

◆ 海外事業の再編

- ヘッドクォーターの香港移管や現地人材の積極的な登用による強化
- 人材交流の活性化による全体的ボトムアップ

➡ 一人ひとりが自ら考え行動し、自社の強みの最大化に挑戦し続ける組織へ

圧倒的な差別化

◆ 顧客視点に立った開発

- 耐熱性の低いプラスチック材料への電子回路印刷を可能とする世界初のダイレクト印刷配線技術の開発
- 専用端末に縛られないマルチブランド対応の電子マネー決済プラットフォーム事業の立ち上げ

◆ 「個告」ソリューションの推進

- 従来のマス広告に替わり、受け取り手一人ひとりのニーズにマッチした情報伝達を実現する「個告」ソリューションを推進
- 高いセキュリティ環境の中でペーパーメディア、デジタルメディアのどちらでも大量・短期間・高品質なサービスを提供
- 日本で唯一、世界最高レベルのバリアブル印刷設備が複数台稼動

➡ 市場を動かす差別化製品・サービスを創出

強固な財務基盤

◆ 合理化による収益力の向上

- 重複事業・業務の整理によるシナジー創出と合理化

◆ 徹底した原価低減・販管費最適化

- 生産性向上に向けた取り組みの徹底
- 業務内容、人員配置の見直しによる適正な人件費率の追求

➡ 健全な財務基盤をもとに、将来を見据えた積極的な投資を推進



滝山工場



大阪桜井工場



日野センター



グループ・データセンター



TFペイメントサービス

J-SCube

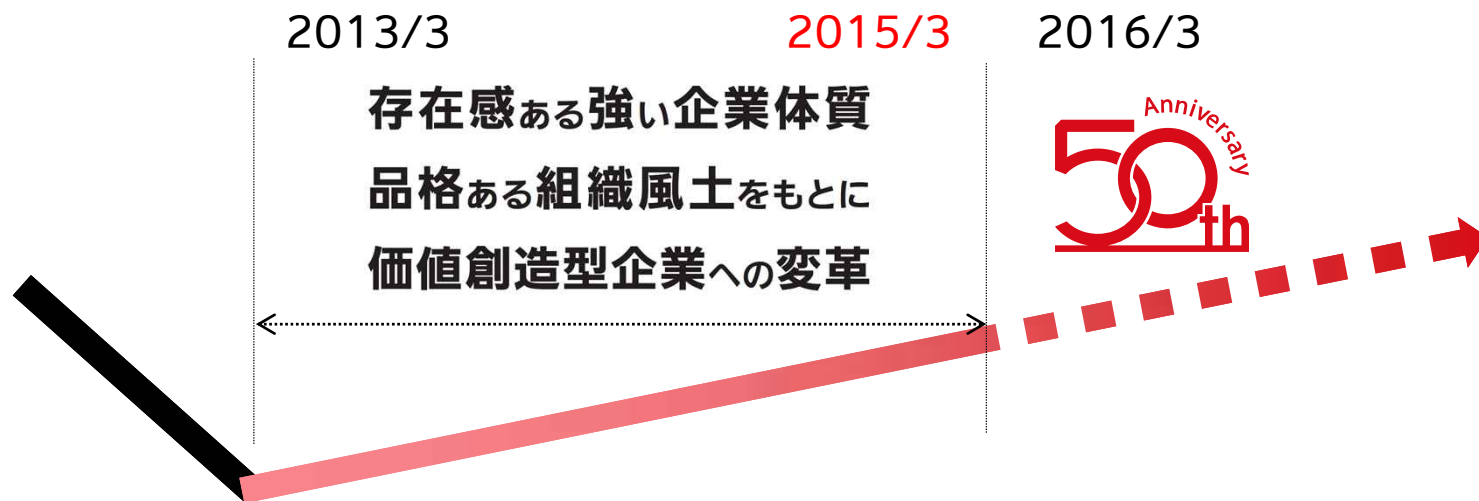
ジェイ エスキューブ



浙江茉織華印刷

今期の位置づけ

◆ 今期（2015年3月期）の位置づけ



- ➡ 50周年を迎える2016年3月期に向けた仕上げの年
- ➡ 5年後、10年後に大きく躍進するための力を蓄える年

具体的な取り組み

印刷事業

商品事業

ICT事業

海外事業

印刷事業 ICT事業 マイナンバー関連案件の取り組み

◆ マイナンバー発行の流れ

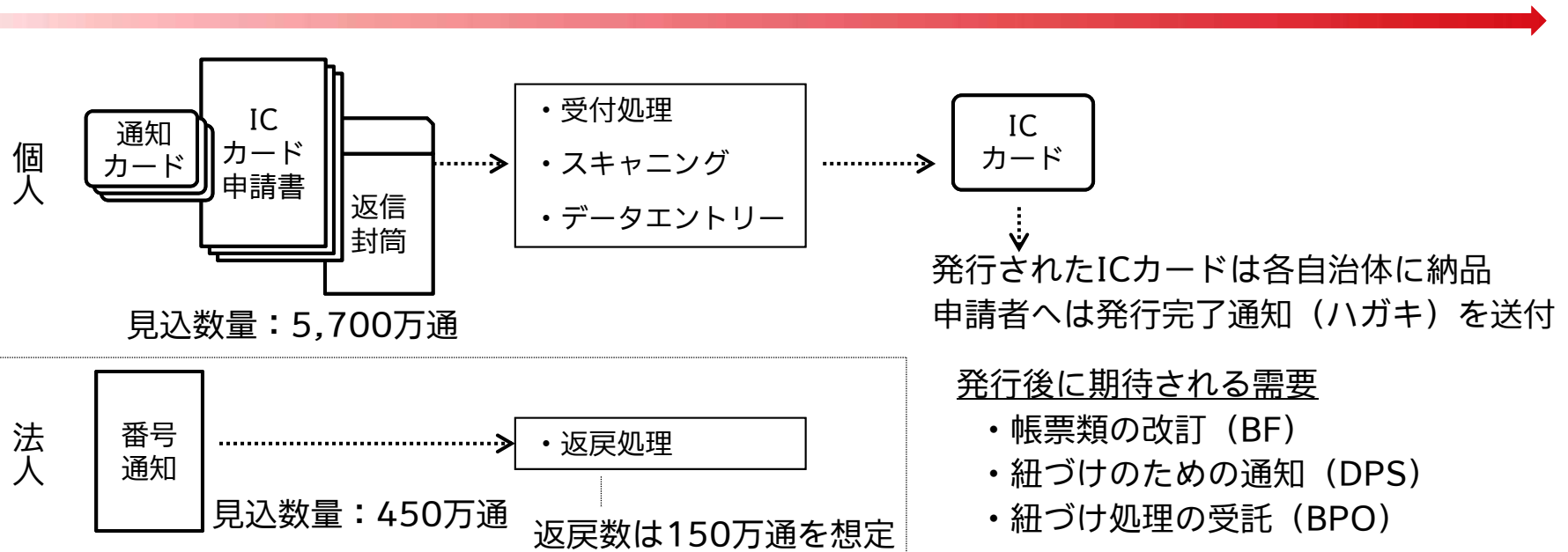
2015/10

番号通知 (BF・DPS)

カード発行申請 (BPO)

2016/1~

カード発行 (ICT)



➡ 最高水準の情報セキュリティ体制、大型案件の受託実績を活かし、発行後に期待される需要を含め、広範囲の受注を目指す

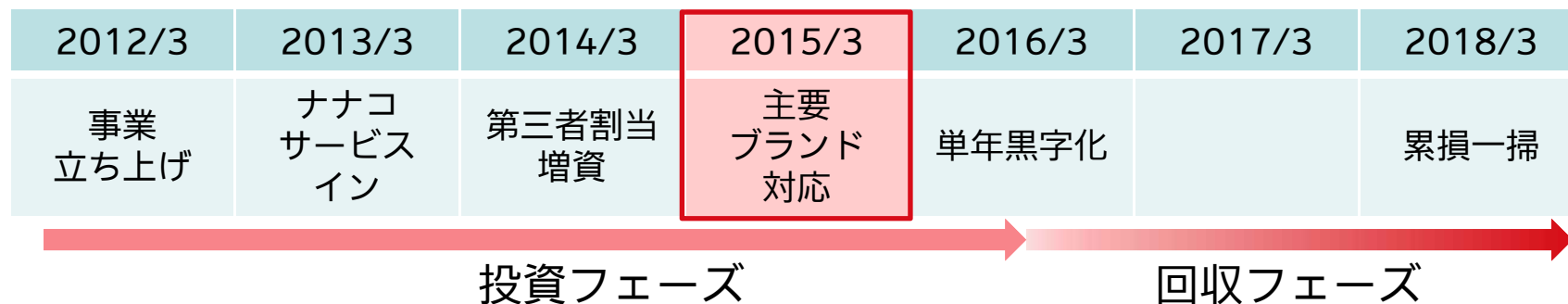
ICT事業 決済プラットフォーム事業の推進

◆ 電子マネーブランドへの対応



➡ 主要6ブランドが揃うことでプラットフォームの価値、ニーズが大幅に増大

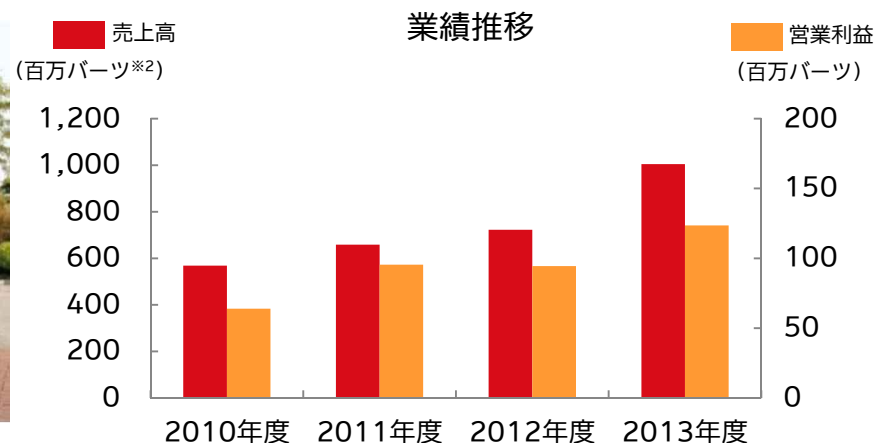
◆ 投資と回収のイメージ



海外事業 ASEAN市場のさらなる開拓

- ◆ データ・プロダクツ・トッパン・フォームズ（DPTF）社の連結子会社化を検討
 - ➡ 2015年、ASEAN経済共同体（AEC）※1が発足 ⇒ 重要な戦略拠点
 - ➡ タイを中心に周辺国も含めた未攻略市場を開拓

DPTF社の概要



- 印刷事業（ビジネスフォーム、DPS、BPO）、ICT事業（カード、カード機器およびメンテナンス）を展開
- VISA、MasterCard、JCB、銀聯といった主要クレジットカードの製造認定を保有
- タイの国民IDカードの受注などもあり、堅調に成長

※1 AEC：10カ国6億人の経済圏

※2 1パーツ=約3.1円（2014/5/14時点のレート）

業績の財務分析

2014年3月期 業績

単位：百万円

	2013年 3月期		2014年 3月期		対前年		対計画	
					増減	伸率	増減	増減率
売上高	243,798	261,410	+17,611	7.2	+15,410	106.3		
営業利益	4.9 11,886	4.7 12,270	+383	3.2	+270	102.3		
経常利益	5.0 12,293	5.1 13,309	+1,016	8.3	+909	107.3		
当期純利益	2.9 7,109	2.8 7,321	+212	3.0	+121	101.7		

2014年3月期 連結決算概況

事業別業績

単位：百万円

	2013年3月期 売上高	2014年3月期 売上高	対前年		営業利益
			増減	伸び率	
印刷事業	172,341	177,366	+5,025	2.9%	→
商品事業	46,319	54,619	+8,300	17.9%	↑
ICT事業	12,615	13,405	+790	6.3%	↑
海外事業	12,523	16,020	+3,497	27.9%	↑
合計	243,798	261,410	+17,611	7.2%	+383

事業別業績の概況

印刷事業

- ビジネスフォームは、上期は減収となったが、周辺印刷物の増加や消費増税前の帳票改訂や駆け込み需要もあり、年間ではほぼ横ばいで推移
- DPSは、ダイレクトメール、プリント業務一括アウトソーシング需要の取り込みなどにより増加
- 営業利益は、工場集約やデータセンター移管による償却費の増加、単価ダウンの影響などもあり、ほぼ横ばいとなった

商品事業

- 買収したジェイエスキューブの機器販売分が貢献

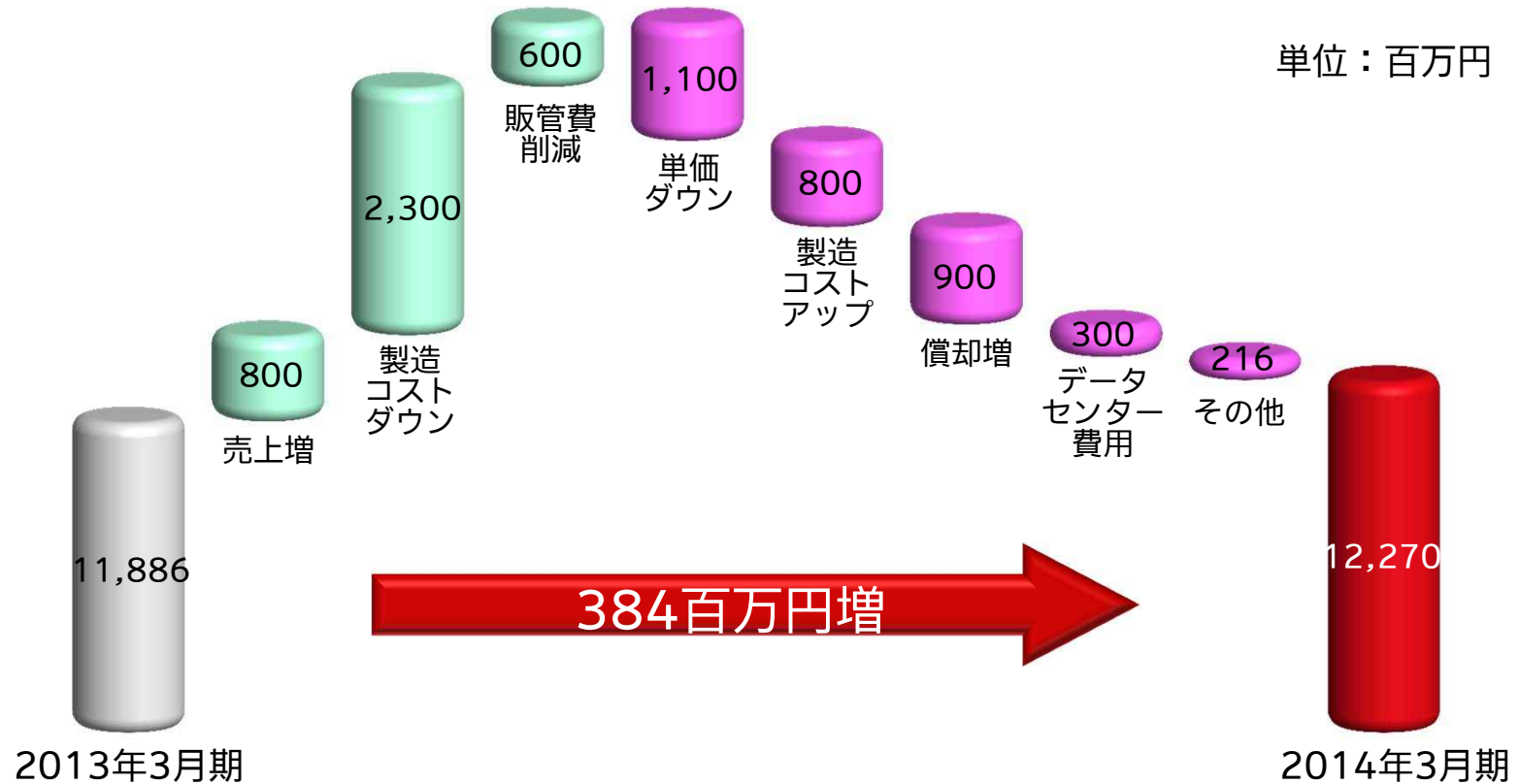
ICT事業

- ICカード関連は苦戦したが、RFIDとデジタルソリューションは堅調に推移

海外事業

- 為替の影響もあり大幅に伸張

営業利益の増減分析



- 新工場建設、新データセンター移管に伴う関連費用が先行して発生
- 販管費削減を含めたコストダウンは概ね予定通りに進捗
- ジェイエスキューブ、海外事業の利益率向上が課題

財政状態

◆ 総資産および純資産

単位：百万円

	2013年3月末	2014年3月末	増減
総資産	200,512	208,004	+7,491
純資産	150,264	155,308	+5,043
自己資本比率	74.6%	74.4%	△0.2p

◆ キャッシュフローの状況

単位：百万円

	2013年3月期	2014年3月期	増減
営業CF	17,183	13,881	▲3,301
投資CF	▲8,822	▲15,926	▲7,104
財務CF	▲2,950	▲2,675	+275
現金同等物	42,204	37,681	▲4,523

設備投資と償却

◆ 設備投資と減価償却費

- 設備投資実績

10,300百万円

- 減価償却費実績

8,400百万円

- 2014年3月期中における主な設備投資

- 滝山工場Ⅱ期工事 20億円（総投資額42億円） ※2013年7月竣工
- 日野センター 12億円（総投資額13億円） ※2013年10月竣工
- 大阪桜井工場Ⅱ期工事 14億円（総投資額19億円） ※2014年5月竣工予定

◆ 株主還元策

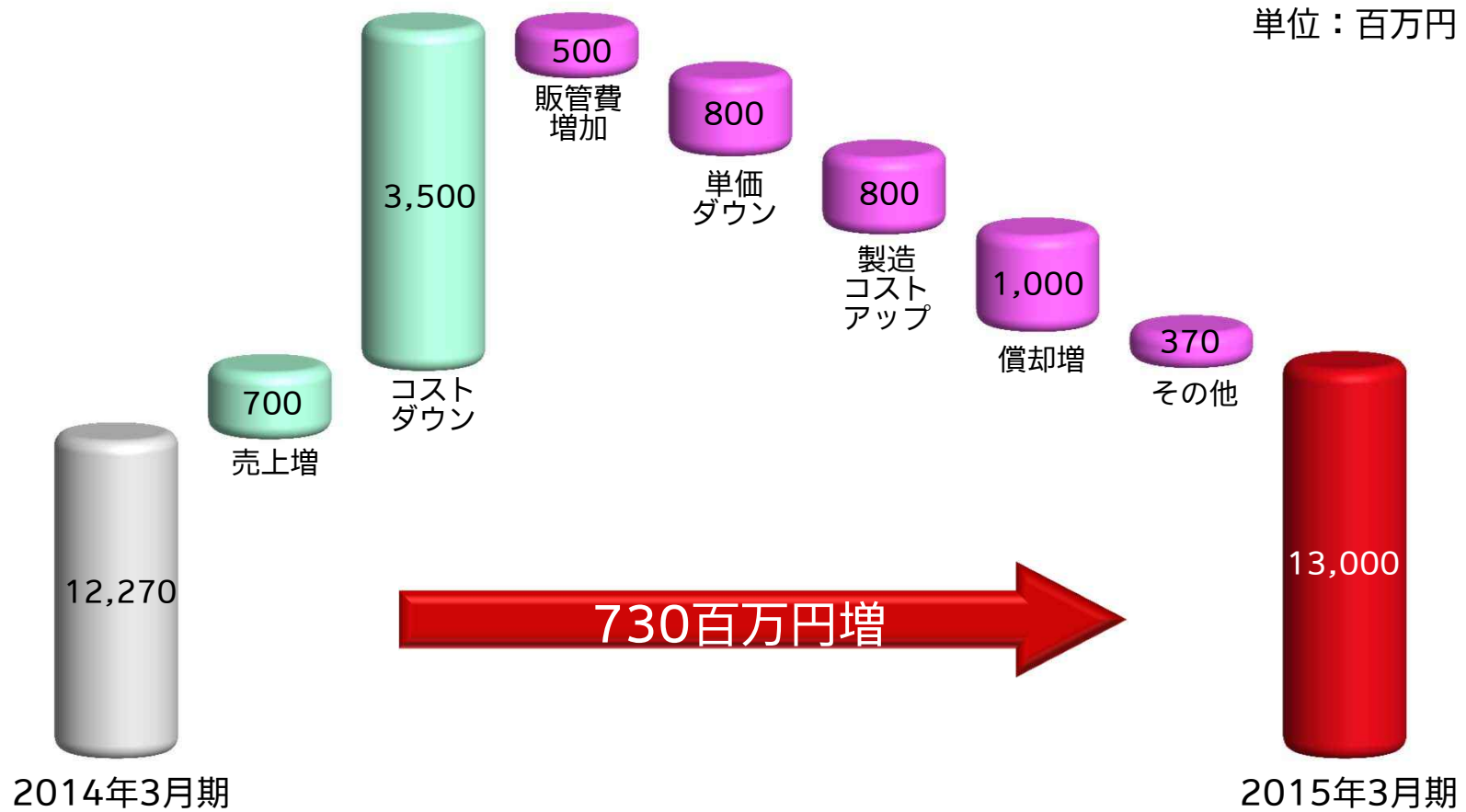
- 年間25円の予定（配当性向37.9%）

2015年3月期 業績見込み

単位：百万円

	2014年 3月期	2015年 3月期	対前年	
			増減	伸率
売上高	261,410	266,000	+4,590	1.8%
営業利益	4.7 12,270	4.9 13,000	+730	5.9%
経常利益	5.1 13,309	5.1 13,500	+191	1.4%
当期純利益	2.8 7,321	2.9 7,700	+379	5.2%

営業利益増減の見通し



設備投資と償却の見通し

◆ 設備投資と減価償却費

- 設備投資

10,000百万円

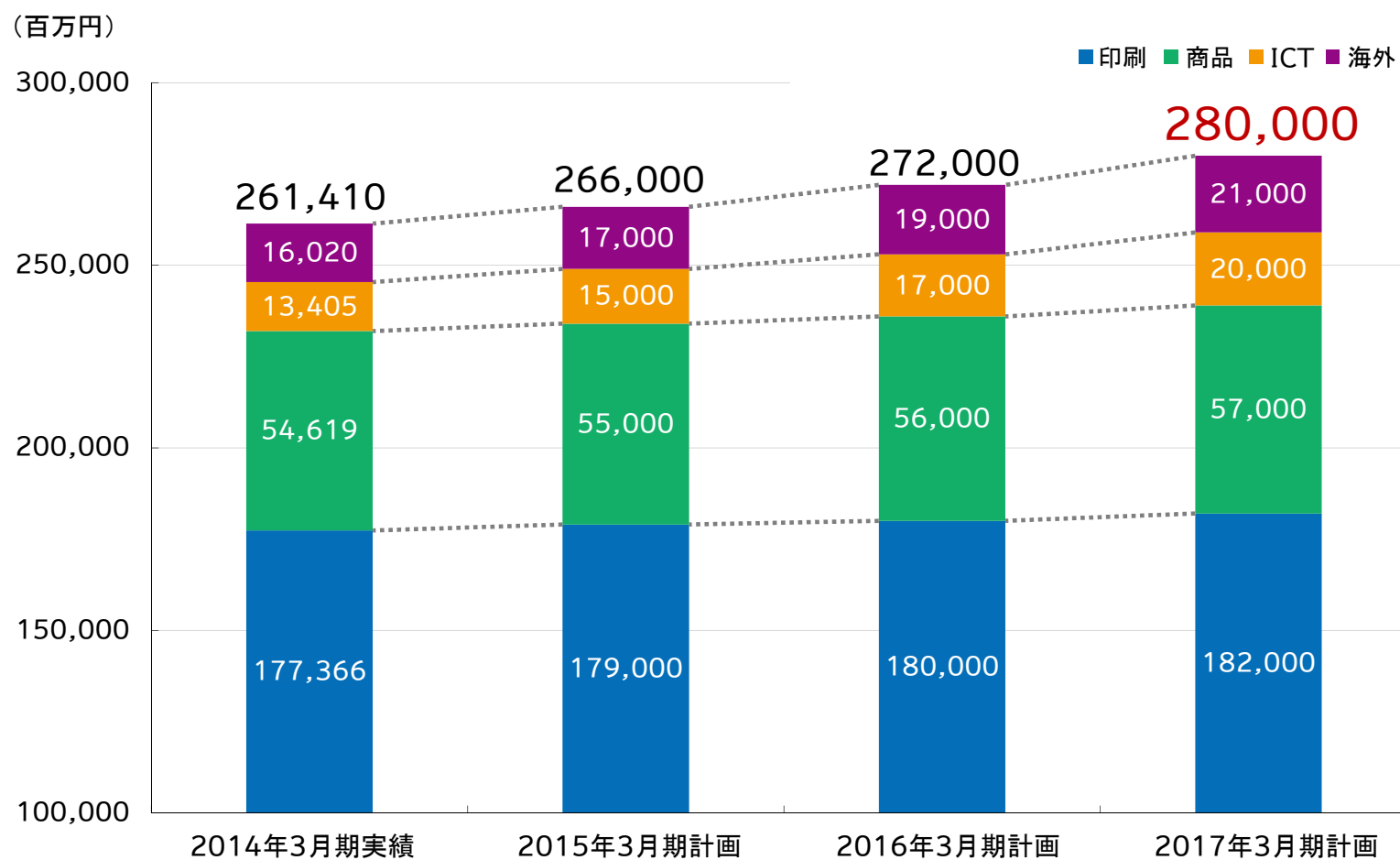
- 減価償却費

9,400百万円

- 2015年3月期中における主な設備投資

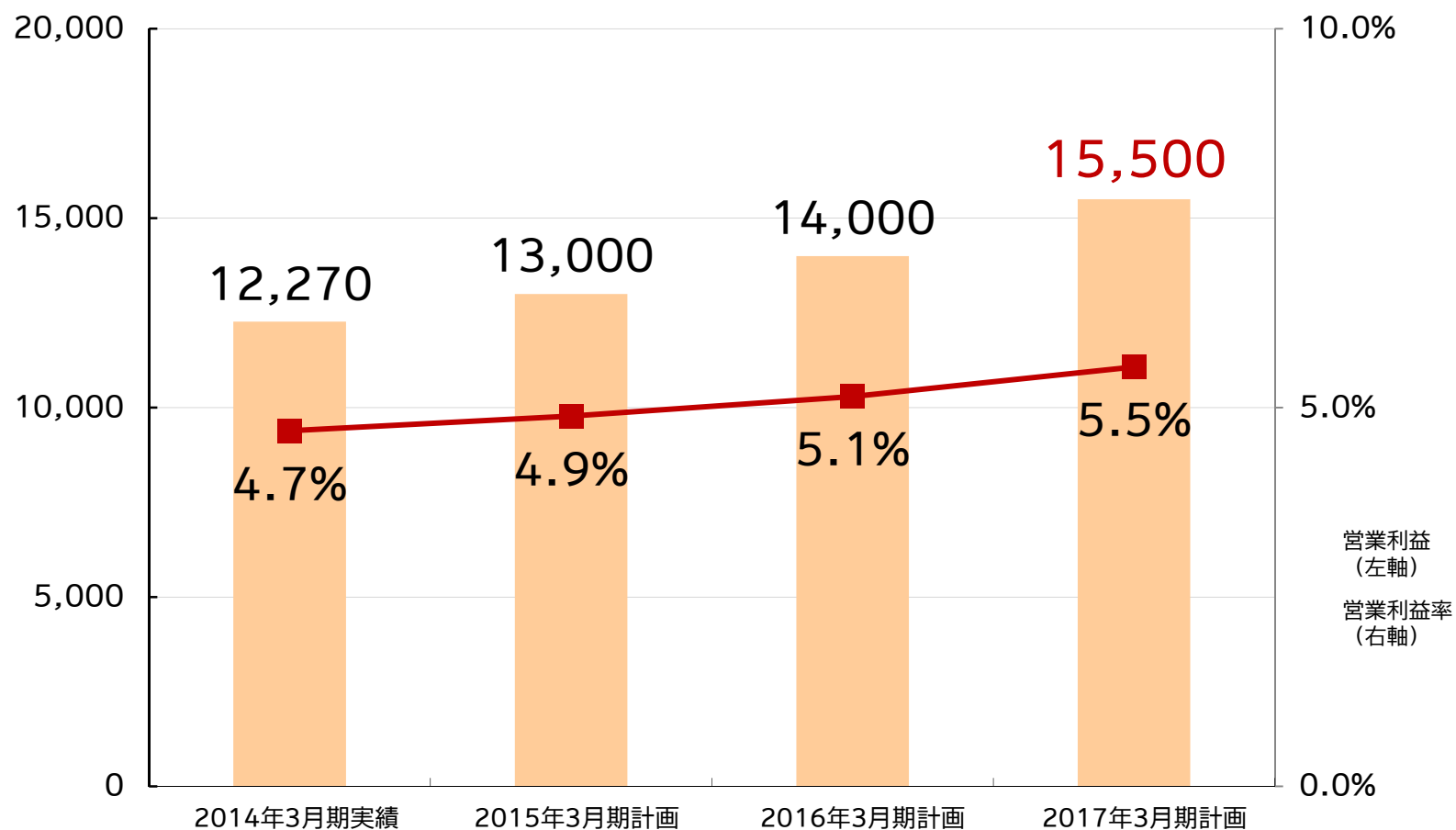
- DPSプリンターなどの生産設備 44億円
- データセンター整備・基幹システム構築などIT関連 17億円
- NFC決済プラットフォーム関連 11億円

中期の見通し (売上高)



中期の見通し（営業利益）

(百万円)



将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料における業績予想および将来予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により、実際の業績が異なる場合がありますことをご承知おきください。